

【OIE 情報】 オランダにおける高病原性鳥インフルエンザ（H5N8）の発生について

平成 26 年 11 月 25 日
動物衛生課

オランダ王国における高病原性鳥インフルエンザ（H5N8）の発生について、OIEへ報告（続報 1、2）がありましたのでお知らせします。

なお、本発生に伴う新たな検疫対応はありません。

我が国と当該国は家きん卵について家畜衛生条件を締結していますが、2012年8月13日に同国より低病原性鳥インフルエンザの発生が通知されたことから、同日付けで同国からの家きん卵の輸入を停止しています。

【出典】

OIEウェブサイト：2014年11月21日、22日付け

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16565（続報 1）

http://www.oie.int/wahis_2/public/wahid.php/Reviewreport/Review?reportid=16566（続報 2）

（OIE情報は更新・差替えが行われる場合がありますので、出典元も併せて御確認下さい。）

【概要】

- ・発生数：2件（続報 1、2）
- ・発生日：2014年11月19日、21日
- ・OIEへの報告日：2014年11月21日、22日
- ・血清型：H5N8（高病原性）
- ・臨床徴候あり

【発生状況】

- ・11月19日：南ホラント州 Ter Aarの農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
採卵鶏	43,000	100	100	42,900	0

- ・11月21日：オーファーアイセル州 カンペルフェーンの農場

【動物種】	【飼育羽数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
種家きん	10,000	500	500	9,500	0

【疫学情報】

- ・感染源：不明又は調査中
- ・2014年11月21日及び22日、発生農場の周囲10kmにサーベイランスゾーンが設置された
- ・南ホラント州 Ter Aarの発生農場の周囲10kmのゾーンには他の農場はない

- ・ オーフターアイセル州 カンペルフェーンの発生農場の周囲10kmのゾーンには26戸の農場があり、全ての農場でスクリーニング実施予定
- ・ 感染農場の飼養動物は全て殺処分された

【対応】

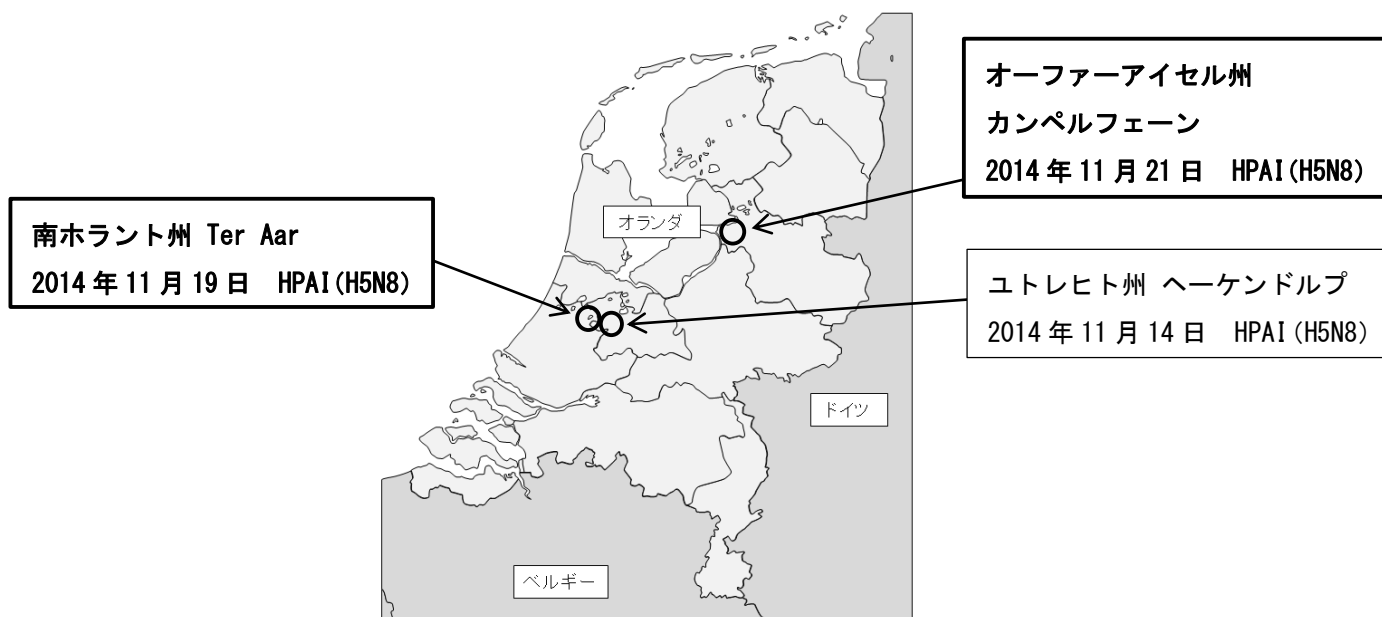
- ・ ワクチン接種禁止
- ・ 患畜を治療対象としない
- ・ 野生宿主のコントロール
- ・ 淘汰
- ・ 国内における移動制限
- ・ スクリーニング
- ・ ゾーニング
- ・ 施設等の消毒実施

実施予定

【診断】

- ・ PCR：陽性（2014年11月21日、国立研究所）

【オランダにおける高病原性鳥インフルエンザの発生状況地図（2014年11月以降）】



（参考情報：2014年以降家きんでH5N8亜型高病原性又は低病原性鳥インフルエンザが検出された国・地域）

- ・ 韓国（高）：2014年1月16日、2014年9月24日
- ・ 日本（高）：2014年4月12日
- ・ 米国（低）：2014年4月14日
- ・ 中国（高）：2014年9月12日
- ・ ドイツ（高）：2014年11月4日
- ・ オランダ（高）：2014年11月14日、2014年11月19日、2014年11月21日
- ・ 英国（高）：2014年11月14日

* 日付は発生日又は検体回収日に基づく

* 出典：OIE